

# 武器（防衛装備）見本市NO！

## ――申込者の入場拒否？？――

イギリスの民間企業「MASTコミュニケーション」が開催する海洋防衛の見本市が2019年6/17～6/19幕張メッセ大ホールで催されました。

「安保関連法に反対するママの会」&「幕張メッセでの武器見本市に反対する会」が多くの市民（200～300人）と共にメッセ大ホール前で“武器見本市NO”の大抗議を（2019年6/17午後1時～）。午前中MASTを視察すべく申し込んでいた市民が入ろうとすると、ある人に対しては何も言わずに入場OK、ある人には見本市に反対している人だと言って入場拒否が……。県有施設での見本市。どうして県民が入れないの？不満と抗議の声が。



午後1時からの大抗議では「日本の防衛のための見本市だと言う人もいるが日本に武器を売り込むだけでなく、日本から外国へ売り込む武器のビジネスの場となる見本市は“死の商人”＝軍需産業の拡大＝軍拡の集いだ。拒否する！」「武力で平和は作れない」「今日の集まりをスタートにして11月にある陸海空軍の総合防衛展示会ストップさせよう」と発言があり、ヒューマンチェーンとダイインを敢行。

市民はメッセ会場に向かってコールをしました。“武器はいらない”“戦争反対”“武器はやめて！””武器見本市NO！”と。



幕張メッセでの武器見本市最終日（6/19）、午前中視察に入りました。千葉県議会議員4名・前県議3名・市民スタッフ3名が交渉の末やっと入場できました。

国際展示場1-8ホールの中に約30弱のブースがつくられ、展示&商談が行われていました。ゴールドスポンサーはロッキードマーチン社。防衛装備庁の展示ブースには次期対潜哨戒機P-1（川崎重工）C-2輸送機（川崎重工）水中航走式機雷探知機（三菱重工）救難飛行艇（新明和工業）の模型機をはじめIHI、沖電気、スバルそして中小企業のインパクトワールド・オオハシ・杉江製陶・テック大洋工業・ハイテクインターとそれぞれの展示がされていました。

JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」の活動ビデをも流されていたことから、民間利用技術が軍事技術とのデュアルユース技術でもあることを如実に表し



ています。安全保障技術研究推進制度 103 億円が防衛予算に計上されている意味を十分考えなければと思われました。

今回のような軍需産業の展示・商談が千葉県の施設幕張メッセで堂々と開催されている事の意味を真剣にとらえなければ・・・日本の成長戦略の一面を軍事・武器生産や商売が担っているのだろうか？日本の平和主義はどこに行ったのだろうかと考えさせられます。



日本の国是は憲法の平和主義、九条、平和外交の立場から“武器輸出三原則”が堅持され、その間は原則輸出禁止でした。

しかし小泉内閣でアメリカとの弾道ミサイルシステムの共同開発・生産を対象外に、そして民主党政権（鳩山・菅・野田）下では武器輸出三原則の緩和の道が模索され、第二次安倍政権になり 2014 年 4 月 1 日「防衛装備移転三原則」の閣議決定。

移転三原則とは①“移転（輸出）を禁止する場合の明確化”により紛争当事国になる恐れのある国への輸出禁止の制限はなくなった。②“輸出は平和貢献・国際協力と、我が国の安全保障に資する場合”と抽象的で拡大に③“目的外使用、第三者への移転の適正管理”と言っているが“国際共同開発などの場合、相手国の管理体制を確認すればOK”、でありまさに武器（防衛装備）輸出が原則容認に転換、武器の共同開発への道を開くことになりました。

2019 年の防衛予算は 5 兆 2500 億円。敵地攻撃能力の巡航ミサイル、空母化、イージスアショアと戦後自民政権が示してきた専守防衛の範囲すら逸脱し集団的自衛権の行使の軍備が整備され始めています。

“武力で平和は作れない” 国際紛争の解決に武力を使わない”と言った私たちの国の憲法の平和主義が壊されています。

千葉県議会 5 月臨時議会で、今回の 6/17~6/19 の武器見本市にメッセを貸し出すことを止めさせようとして意見書が出されようとなりましたが、議論をしようとして賛成した議員は加藤・三輪（共産党）、伊藤（市民ネット）、小宮（社民党）、秋葉、西尾氏の 6 名でしかなかった。ある女性県議員に至っては「防衛装備は武器ではないでしょう」「意見書に反対だわ」とトンチンカンな事を言っただけから状況だったとのことです。千葉県議会の現状は残念です。

市民の平和主義を希求しましょう！

”民主主義と自治そして平和主義” ふじしろ政夫 047-445-9144

\* 2019 年 4 月 8 日以降の活動報告をホームページに掲載しています。

「いい鎌ヶ谷・ふじしろ政夫」でアクセスできます。